



東京六本木ロータリー・クラブ

TOKYO
ROPONGI
ROTARY CLUB



平成22年8月30日

卓話 『きれいになりたいですか』

医療法人社団 渡邊歯科医院 理事長、院長

東京六本木ロータリー・クラブ会員

渡邊 滋 様



御飯を噛んでいるとだんだん甘くなります。デンプンが唾液中の酵素で分解されて麦芽糖になるからです。ここまで噛んでくれるとよろしいんですね。そして胃に送られると胃酸が待ち受けていて、タンパクや脂肪、デンプンを分解していきます。胃酸の正体は塩酸で、pH 1～2といいますから強い酸ですね。

更に小腸に送られるともう一段上の消化が起ります。そして小腸の絨毛を通して吸収され、身体中に栄養として配られます。小腸は6m程あり、絨毛全体の表面積はなんとテニスコート1～2面分の広さというから大変です。

大腸には沢山の細菌がいて、その重さはなんと1kgといいますから驚きなんですが、人間と共生し、免疫作用に大きく関わっているといわれますから重要な存在なのです。

ところで消化とは何かというと、最終的には食物の中の細胞のDNAをバラバラにして、正体不明にしてしまう作業なんですね。そうしないと小腸で免疫反応が起きて大変なことになる。とにかく身体は自分のDNAと違うDNAは受け入れないんですから。

では何故毎日食べないといけないか。それは心筋や脳細胞や完成した歯のような幾つかを除いて殆どの細胞が常時新陳代謝を繰り返しているからです。実はそうしないと劣化の法則（エントロピー増大の法則）が働いてダメになる。だからダメにならな

いように細胞は先まわりして自らの細胞を壊し、新たに細胞をDNAの指示通りに作り変える。同じものを作るから人間アイデンティティを保てるわけです。ただだんだん上手く作れなくなる。それが老化です。

病気というのも、云い方を変えればエントロピー増大の結果ですね。つまり一般に医療というのは、エントロピーを除去して機能を再建することです。歯科はその典型で、ダメになった歯を埋めたりかぶせたり、歯の無いところに入れ歯やインプラントで機能を再建することが仕事です。ただ歯は外から見えるものだから形や色調や歯並びをよく考えないといけない。色々なイメージを作る（記号性）からです。そして案外気がついていないけれど、顔を美しく保つには、歯並びだけでなく噛み合せの高さが正しくないとダメなのです。高さが低くなると老けて見える。歯はほっとくと全体が次第に低くなるから、それを補正しないと老けの原因となります。そういうことも含めて治療するのが正しい歯科の仕事なのです。そして、前歯が出っ歯になったり動き出すのは、奥歯に原因があることが多いことも覚えておきましょう。

